

シンポジウム

13:30-16:15

基調講演

「『間』のポエティクスをめぐって」

松井 茂
情報科学芸術大学院大学、詩人

石井 美保
京都大学

原 瑠璃彦
静岡大学

司会・コメンテーター

田中 純
東京大学

共催

科研費基盤研究(B)
「『一般リズム学』を地平とする統合的思想史の構築」

関連展示

磯崎新による
「東京大学教養学部美術博物館」
改造計画案・オリジナル図面
(1979年)

パフォーマンス

17:00-18:30

聞き手

渡邊守章先生に捧ぐ
ひらりと飛ぶかと思し夢は・・・
—新内節の声・間・情—

三世・岡本宮之助
新内節岡本流代表

岡本宮弥
鶴賀喜代寿郎
岡本文之助

小林康夫
東京大学名誉教授

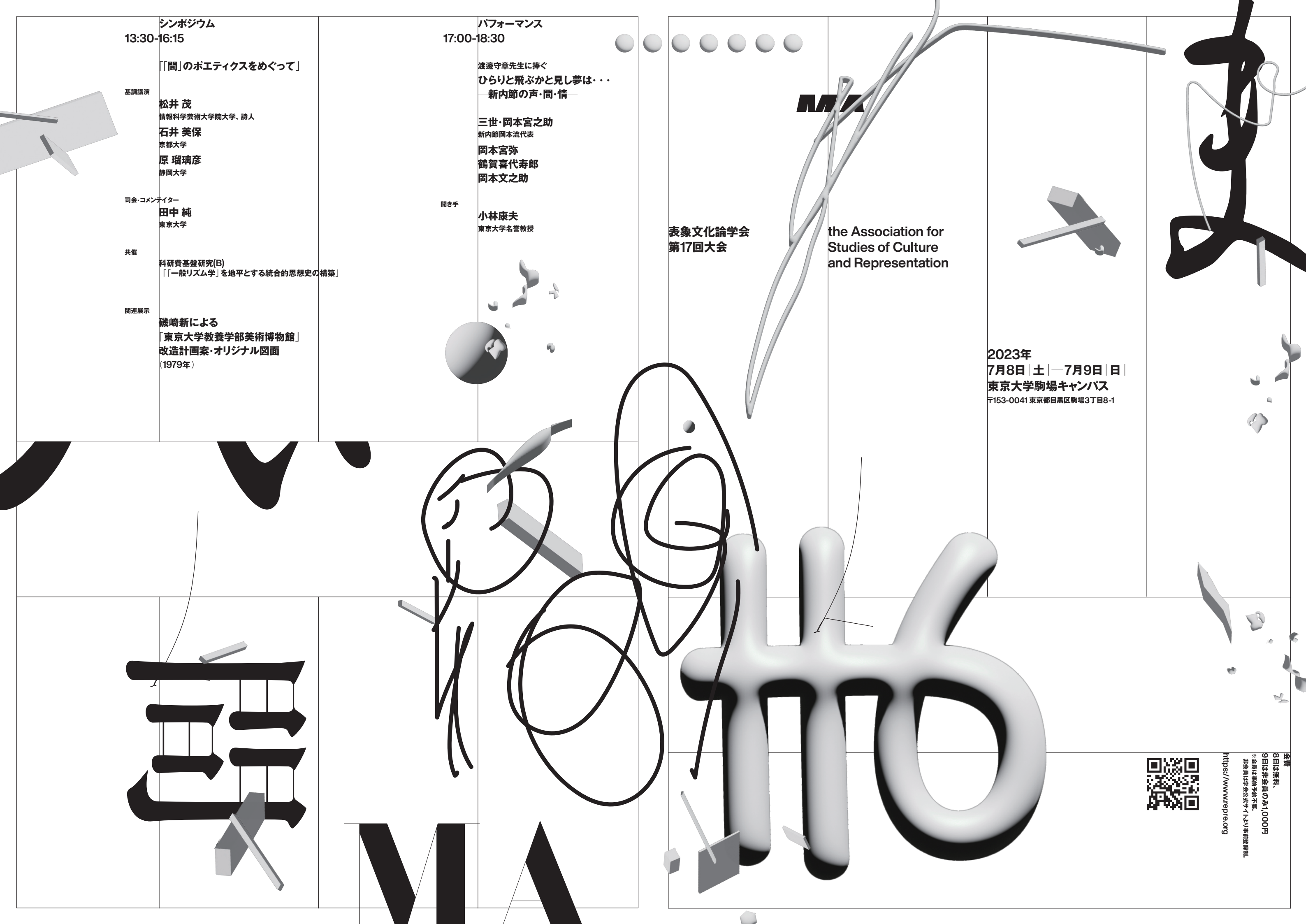
表象文化論学会
第17回大会

the Association for
Studies of Culture
and Representation

2023年
7月8日 | 土 | — 7月9日 | 日 |
東京大学駒場キャンパス
〒153-0041 東京都目黒区駒場3丁目8-1

会場

8日は無料、
9日は非会員のみ1,000円
※ 会員は事前予約不要、
非会員は非会公式サイトより事前登録制。
<https://www.depre.org>





2023.7.8

[土]

13:30–16:15

シンポジウム

Komcee East 地下 K011

「間」の

ポエティクス

をめぐる

基調講演 | 松井茂

(情報科学芸術大学院大学、詩人)

石井美保

(京都大学)

原瑠璃彦

(静岡大学)

司会・コメンテーター | 田中純

(東京大学)

共催 | 科研費基盤研究(B)「一般リズム学」を

地平とする統合的思想史の構築

13:00–17:00

K011入り口付近通路

関連展示 | 磯崎新による「東京大学

教養学部美術博物館」改造

計画案・オリジナル図面 (1979年)

17:00–18:30

パフォーマンス

Komcee East 地下 K011

渡邊守章先生に捧ぐ

ひらりと

飛ぶかと

見し夢は...

—新内節の

声・間・情—

三世・岡本宮之助

(新内節岡本流代表)

岡本宮弥

鶴賀喜代寿郎

岡本文之助

聞き手 | 小林康夫

(東京大学名誉教授)

19:00–21:00

学会賞授賞式および

懇親会

(会員および同伴者のみ)

Komcee West 地下 MMホール

2023.7.9

[日]

10:00–12:00

研究発表

(午前)

企画パネル

Komcee East 2階 K211

知を上演する

—渡邊守章という劇場

石田英敬

(東京大学名誉教授)

小林康夫

(東京大学名誉教授)

高橋幸世

(作曲家、パフォーマンスアーティスト)

司会 | 竹内孝宏

(青山学院大学)

Panel 1

Thinking with the Intersection/

al: Affects, Food, and Mobility

in Inter-Asian Cinema

Komcee East 2F K212

Framing the Aftertaste of

Loss: Food and (In) Digestion

in Haruhara-san's Recorder

Yutaka Kubo

(Kanazawa University)

From the Transregional to the

Transnational

—the Representation of Contemporary

Uyghur People Across Asia

Li Wenxin

(Nagoya University)

Yanbian as Method

—Border-crossing *Chaioxianzu* (Korean-

Chinese) On Screen and The

Poetics/Politics of Dis-Attachment

MA Ran

(Nagoya University)

Commentator | CHEN Chih-ting, Timmy

(Hong Kong Baptist University)

Chairperson | MA Ran

(Nagoya University)

12:10–13:00

総会

(会員のみ)

Komcee East 2階 K211

13:00–14:00

昼休み

14:00–16:00

研究発表

(午後1)

パネル2

クロスメディアとしての

〈新派〉の水脈

Komcee East 2階 K211

新派と新劇の交差

—『復活』と『カチューシャ』を繋ぐ

女性の「声」について

谷口紀枝

(早稲田大学)

ヒロインたちはなぜ死ぬのか

—『にぎりえ』『虞美人草』『金色夜叉』と

その脚色

中村ともえ

(静岡大学)

コロナ禍下における劇団新派

『八つ墓村』の変奏と展開

後藤隆基

(立教大学)

コメンテーター | 木下千花

(京都大学)

司会 | 小川佐和子

(北海道大学)

パネル3

機械化する生物、生物化する機械

—移民、ロボット、機械生命

Komcee East 2階 K212

機械的な身体の誤認逮捕

—新聞コミックス「ハッピー・フォーガン」に

おける移民表象

鶴田裕貴

(東京大学大学院)

動きすぎるロボット、動かないロボット

—1930年代の日本マンガにおける

生物型機械のイメージ

陰山涼

(東京大学大学院)

鋼鉄の「生命体」

—デーブリーン『山と海と巨人』における

機械の生命的描写について

相馬尚之

(東京大学大学院)

コメンテーター | 増田展大

(九州大学)

司会 | 相馬尚之

(東京大学大学院)

パネル4

音楽批評をまたぐ

—19世紀末から20世紀前半の

ドイツ・フランスにおける批評実践

Komcee East 2階 K213

商品のアンチミー

—Th・W・アドルノ『新音楽の哲学』に

おけるK・マルクスの方策

相馬巧

(東京大学大学院)

『案内嬢の手紙』

—ある演奏会時評の言語的戦略

伊藤靖浩

(東京大学大学院)

音楽批評タームとしての「新しさ」

—循環音楽史観と本質主義的理念の照応

小島広之

(東京大学大学院)

コメンテーター | 吉田寛

(東京大学) [online]

司会 | 小島広之

(東京大学大学院)

16:30–18:30

研究発表

(午後2)

パネル5

戦後日本映画と労働(者)

Komcee East 2階 K211

1948年の「労働(／)運動」映画

—『幽霊暁に死す』と『明日は日本晴れ』

紙屋牧子

(玉川大学)

兵士からサラリーマンへ

—1950年代から60年代初頭にかけての

東宝サラリーマン喜劇を中心に

角尾宣信

(和光大学)

協働と断絶

—『嵐を呼ぶ十八人』と1960年代前半の

日本映画における「集団」の諸相

川崎公平

(日本女子大学)

コメンテーター | 藤井仁子

(早稲田大学)

司会 | 長谷正人

(早稲田大学)

パネル6

「ままならない身体」をめぐる

思考と実践

Komcee East 2階 K212

自己の身体に対する

解像度を上げる

—大野慶人の舞踏の稽古

宮川麻理子

(立教大学)

不／自由なダンス

—老いを巡るダンスドラマトゥルギー

中島那奈子

(ダンスドラマトゥルク) [online]

「なりきる」から始まる、

自身の表現機会

小川千尋

(東京経営短期大学)

コメンテーター | 外山紀久子

(埼玉大学)

司会 | 小澤京子

(和洋女子大学)

*マスク着用(任意)、消毒、換気などの感染対

策を講じたうえで対面の開催とします。

*プログラムは予告なく変更されることがありま

す。詳細及び最新情報は表象文化論学会ホー

ムページ (<http://www.repre.org/>) をご覧くだ

さい。

問い合わせ先

表象文化論学会第17回大会実行委員会

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学総合文化研究科表象文化論研究室内

E-mail | kikaku@repre.org

URL | <http://www.repre.org/>